

# イヒナビ

vol.28

*ihinavi*

旭化成ホームズ株式会社  
東京法人支店



～ペットと暮らすとこんなにも幸せを感じる～

**ペットを飼うと、生活満足度が  
1300万円相当上昇する！**

～大切な家族であるペットと暮らす家～

**大切なペットだから、守りたい！**

【ペットと暮らすとこんなにも幸せを感じる】

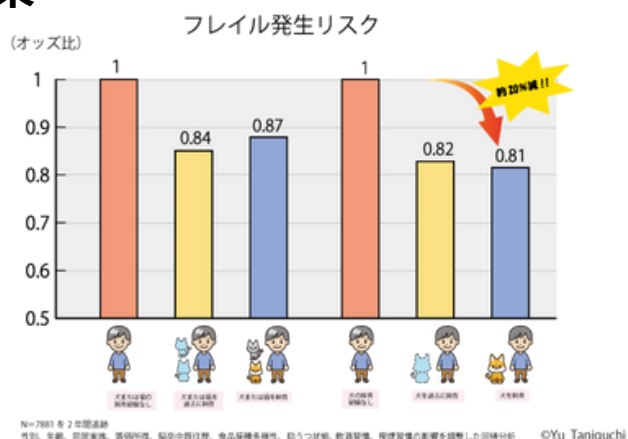
# ペットを飼うと、生活満足度が 1300万円相当上昇する！

ソーシャル・インディケーターズ・リサーチ誌に掲載された研究結果では、動物を飼うことで、生活満足度が金額に換算して年間最大7万ポンド（約1300万円）相当上昇するというデータが発表されました。この調査結果では、ペットを飼うことで配偶者を持つことなどと同等の生活満足度が得られるとなっています。ペットは家族の一員とされていますが、このように金額に換算した調査により、幸せ具合が可視化されたのではないのでしょうか？

## ペットとの共生が人と社会にもたらす効果

ペットと暮らすと、朝夕の散歩が日課になるなど、健康面でも良い影響を与えられています。東京都健康長寿医療センター研究所の調査によると、日本人高齢者を対象として、犬や猫などのペットの飼育経験を調査し、フレイルではない約7,900人（平均年齢73.6歳±5.3歳）を2年間追跡調査したところ、ペットを飼っているとフレイル発生リスクが少ないことがわかりました。

※「フレイル」とは、歳とともに、体力・気力が低下した状態のこと



## ペットとの暮らしで親世代の健康に影響も



### ペットを飼うと健康寿命も伸びる

さらに日本人高齢者約11,000人（平均年齢74.2歳±5.4歳）を3.5年間追跡調査した結果、ペット（犬もしくは猫）を飼育したことのない人に比べて、過去にペットを飼っていた人の方が、要介護状態や死亡のリスクが低いこともわかりました。ペットの中でも、犬を飼育しているとリスクは5割近く軽減しているとのことです。

### 社会との繋がりも保っていける

またペット（特に犬）を飼育することで、散歩を通じ愛犬家との繋がりが広がったり、ドッグランなどへ足を運ぶことで、日々の生活では出会えなかった人との交流も広がっていきます。



【ペットを迎え入れる前に考えておきたいこと】

# ペットを家族に迎え入れるには

私たちの生活に潤いを与えてくれるペットとの暮らしですが、迎え入れるために飼い主としての心構えを持っておくことが大切です。日本動物愛護協会では、「飼い主に必要な10の条件」をホームページで公開しています。

## 【飼い主に必要な10の条件】

- ①住宅がペットを飼える状況にあること
- ②ペットを迎えることに家族全員の合意があること
- ③動物アレルギーの心配がないこと
- ④そのペットの寿命まで(終生飼養)飼育する覚悟があること
- ⑤世話をする体力があり、その時間をさけること
- ⑥高齢になったペットの介護をする心構えがあること
- ⑦経済的負担を考慮すること
- ⑧必要なしつけと周囲への配慮ができること
- ⑨引っ越しや転勤の際にも継続飼養する覚悟があること
- ⑩飼えなくなった場合の受け皿を考えておくこと



## ペットを安心して飼育できる環境づくりが必須



上記のように、ペットを受け入れる前に、本当にお世話ができるのか？を十分に考えましょう。今は大丈夫でも、この先ライフスタイルの変化があり、ペットを手放すようなことが想定される場合は、ペットを受け入れるのに慎重になったほうが良いかもしれません。

また、これらをクリアして、最高のパートナーを迎える場合は、ペットが安心して暮らすことができる環境を作ってあげましょう。

ペットを迎え入れるためのポイント↓↓↓

【ペットを迎え入れるためのポイント】

# ストレスなく暮らす



## ペットも人も居心地の良い家

まずはペットがストレスなく暮らせる住環境が大切です。犬は犬らしく、猫は猫らしく本来持っている本能を潰してしまうことのないように住環境を考えてあげましょう。

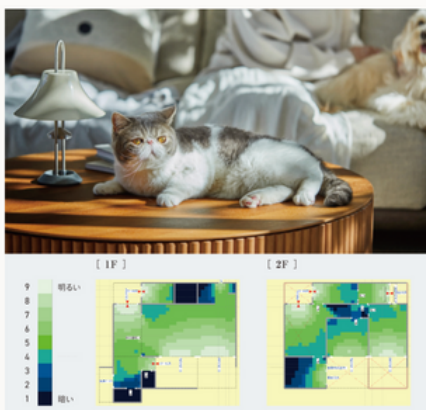
また、最近では異常気象の影響で、夏は猛暑が続いてしまいます。そんな時でも安心してペットが暮らせるように「全館空調」や「スマートフォンでの遠隔操作」なども考えておくで安心です。



一年中、笑顔でいたいから  
すみずみまで、いつも快適な温度に。

### 【ロングライフ全館空調】

季節を問わず、家中どの空間でも24時間一定で快適な温度を保つため、温度変化に弱い愛犬・愛猫も安心して過ごすことができます。



家族みんなに、  
幸せを感じる陽だまりを。

### 【住環境シミュレーションシステム ARIOS】

方角や周辺環境を解析し、太陽のやさしい光と爽やかな風を取り込んで自然の恵みを感じられるように。愛犬・愛猫の健康にやさしい暮らしを実現します。



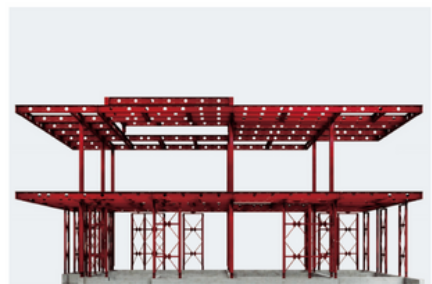
外出先からでもスマートフォンで、  
大切なペットに安心を。

### 【HEBEL HEMS】

エアコンやシャッターと連携しておけば、外出先からスマートフォンで遠隔操作できるため、離れた場所でも愛犬・愛猫を見守れるので安心です。

## 災害や不安から守る家

日本では災害が増え、さらに大地震の発生確率も高まっています。災害時も在宅避難ができる家であれば、ペットと避難所へ避難しなくても良いので安心です。



もしものときに、  
ペットの暮らしを守る住まい。

### 【テクノロジー】

ヘーベルハウスでは、災害から家族の命を守るために、災害に強い構造躯体から設備、各種サポートまで総合的に備えたトータルレジリエンス（＝総合防災力）に優れた住まいづくりに取り組んでいます。



どんなときも、  
家族みんなでいられる安心を。

### 【太陽光発電システム+全負荷対応型蓄電池】

環境の変化に敏感なペットのためにも、災害後はできる限り在宅避難にしたいもの。太陽光発電システムと全負荷対応型蓄電池を備えておけば、仮に電力供給がストップしても電気製品が使えて安心です。



幸せな日常を、  
一刻も早く取り戻すために。

### 【トータルレジリエンス】

各分野のエキスパートとの連携・防災情報システム「LONGLIFE AEDGIS」により、迅速に被害を把握、早急に訪問し修復計画を立案します。保険手続きも代行し、早期復旧を目指します。

# HEBEL HAUSのペット共生住宅



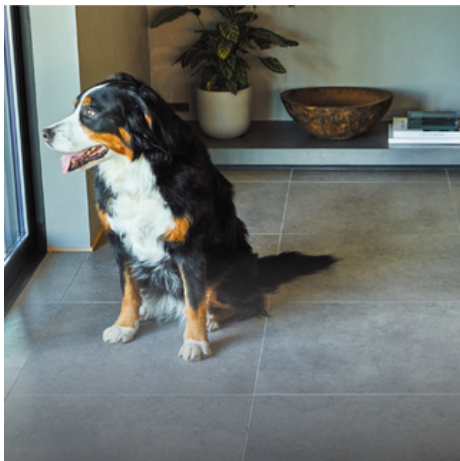
お散歩に出掛けやすい広々玄関



トイレ用換気ファン



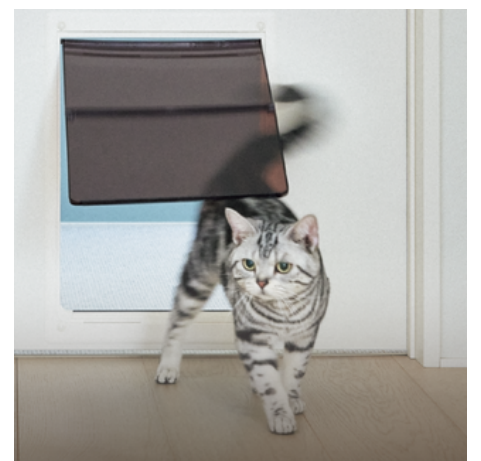
水廻りパネル



室内床タイル



ペット対応フローリング



ペットドア



ルーフトップドッグラン



カーペット



トイレスペース

## ＜編集後記＞

今回のイヒナビでは、ペットと暮らすことが私たちの幸せや満足度を高めてくれること、そして高齢者の健康に良い影響をもたらすことについて取り上げました。

日々の生活の中で、ペットは癒しや安心を与えてくれるだけでなく、散歩やふれあいを通じて活動量を増やし、心身の健康を支える存在でもあります。

ヘーベルハウスの住まいは、そのような大切なパートナーと人が共に快適に暮らせるよう設計されています。

床や壁の素材選びから空間設計まで、細やかな配慮が行き届いているため、ペットの行動や高齢者の生活動線にもやさしい住まいです。さらに、災害に強い構造だからこそ、もしもの時にも在宅避難が可能で、家族全員が安心して過ごすことができます。

また、ヘーベルハウスには長年にわたってペットとの共生住宅を研究してきた豊富なノウハウがあります。その積み重ねが、ペットと人がより健やかに、より安心して暮らせる住まいづくりにつながっています。

是非お気軽にご相談やお問合せください。